

テーマ

みなさんの声をきいてみました

あなたのおもちゃ図書館の魅力はなあに？

三鷹市社会福祉協議会の和室で「三鷹おもちゃ図書館」がスタートしたのは、国際障害者年の1981年。そこには、たくさんの楽しいおもちゃがあり、子どもたちの隣には一緒に遊んでくれるボランティアがいて、子どもたちのとびきりの笑顔をひきだし、子どもの笑顔がお母さんを元気にし、親子で思い切り羽根をのばしほっとできる「オアシス」のような場所がある、それが「おもちゃ図書館」の原点です。

今回、おもちゃ図書館を利用している148名の保護者の方々からいただいたアンケートの結果を見ると、38年を経た現在も「おもちゃ図書館」の原点は、変わっていないことに気づきます。

「おもちゃ図書館」の魅力

その①国内外の多様なおもちゃとボランティアによる手作りのおもちゃ

その② 親子で交流ができ、夏の暑いときも冬寒い日にも遊べる環境

その③いつも優しく見守ってくれるボランティア

子どもたちと一緒に遊び、親たちの話を聞き、時には相談にのってくれる、親子ともども安心していられる場なのです。

そして、「もっと開館日数が増えてほしい」「おもちゃのバリエーションを増やしてほしい」「おもちゃ図書館をずっと続けてほしい」と望む声が上がっています。ボランティアの人数が増えないと難しい、会場の使用に限界があるなどの課題もありますが、どうすればできるかをボランティアも利用者も行政や社会福祉協議会などをまきこんで一緒に考えることで叶うこともあります。

また、自分たちの「おもちゃ図書館」の魅力は何か？強みは何か？を見つけることも大事です。例えば、「月に一回のみの開館だけれど、ボランティアが手厚くかかわることができる。」「お店では買えない手作りおもちゃがたくさんある」「子どもたちの喜ぶ楽しいイベントを企画している」「子どもたちから、元気をもらい私の心も体も若返る」「お話をしっかり聞くことができる」などなど きっと、たくさんでてるのではないのでしょうか？

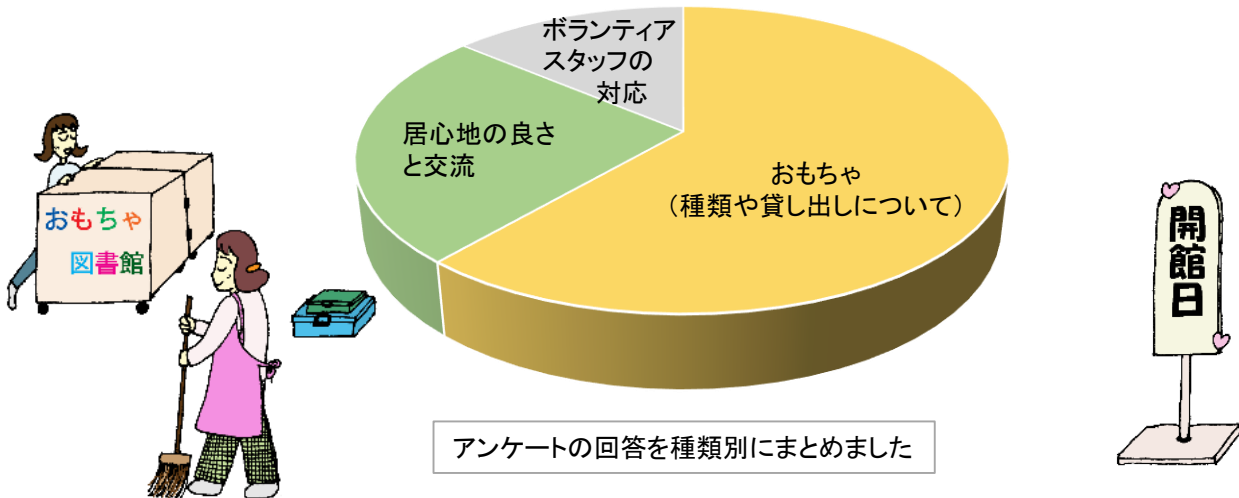
私は、「おもちゃ図書館」の魅力で一番にあげたいのは、ずっと活動を続けているベテランボランティアの存在。なかなか多世代交流ができない時代に、地域のおばちゃん、おじちゃんのボランティアと一緒に遊べ、いつも笑顔で子どもたちや保護者を包み込んでくれる「おもちゃ図書館」に、遊びに行きたいと思うのではないのでしょうか。

NPO法人おもちゃの図書館全国連絡会
副理事長 鈴木訪子

Q おもちゃ図書館の良いところは？

おもちゃ図書館（11館）に遊びに来た148名にアンケートに答えていただきました。（複数回答）

今回のアンケートの中で、一番多かった回答は「おもちゃ」に関することでした。ただ、おもちゃ図書館は沢山のおもちゃで遊べるだけでなく、ボランティアやスタッフに話を聞いてもらえる、色々なお友達と出会えることも、大きな魅力となっている様です。アンケートの回答をすべて掲載はできませんが、一部ご紹介します。

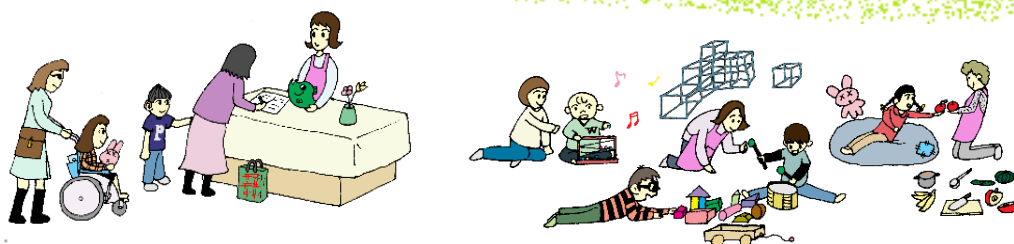


おもちゃについて（種類・貸出）

- ・楽しいおもちゃがたくさんある。
- ・おもちゃをお借りすることができること。
- ・普段あそぶことができないおもちゃで遊べる場所。
- ・自分では買わないおもちゃの良さに気づける。
- ・たくさんのおもちゃから選べる所。何が気に入るかわからないので、試しに遊べる所
- ・時間内に子どもが遊びたりなくても借りていけると嬉しい。子どもは帰りたくないと言うが帰るきっかけにもできるので。
- ・高価なものを試すことができる。こどもは1つのおもちゃより色々なものに興味を示すため何が好きかふれあいができること。何回も借りられる。
- ・赤ちゃんの時から利用させていただいていますが、興味の移り変わりが早いのでその度に新しいおもちゃを使わせてあげることができて本当にありがたいです。
- ・おもちゃがたくさんあって、安全に遊べる。いろいろなおもちゃが借りられる。
- ・無料で借りられる。
- ・持っていないおもちゃをいろいろ手に取って試せるところ。
- ・玩具を購入しても長続きして遊ばないので短期で借りる位が丁度良い。沢山あって子どもの成長に合わせて興味のあるものがわかる。大きい玩具、高価なものもあるので助かる。

居心地の良さと交流

- ・おもちゃの遊び方やルールを知らなくても、どんな遊び方をしても受け入れてくれるところ。
- ・障害をお持ちの方やそのご家族と交流がもてること。
- ・障害児とその家族にとってよりどころとなっているところ。
- ・母子ともに精神的にゆっくりできる。自由に遊ばせることができる。スタッフの方々がとてもやさしい。
- ・他の場所と違って親がリラックスできるところ。おもちゃが借りられるところ。
- ・ゆったりした空間で、時間を気にせず沢山のおもちゃに触れ遊べる所が好きです。ボランティアの方も優しく、子どもといっぱいお話ししてくれるので嬉しく思います。
- ・色々な種類のおもちゃがあり、遊んだり借りたりできる。身体の不自由な子と一緒に遊ぶ経験から差別なく接することを学べる。おもちゃドクターの先生が来てくれるので壊れたおもちゃを直してもらえます。
- ・自閉症の息子が大声あげてもみんな気にしないからラク。
- ・病院の中にあるので待ち時間に利用できたり、似たような子がいるので安心して遊べる所。おもちゃの種類が多いところ。
- ・室内なので夏や冬雨の日にも遊べるので親は助かります。



ボランティア・スタッフについて

- ・いつもボランティアの方がやさしくしっかり見て下さっているのので、安心してあずけられます。
- ・会の方々がとても気さくでなじみやすいです。毎回子どもが楽しみにしています。
- ・気兼ねなく遊ばせてくれる。おもちゃの種類が豊富でいろいろ遊べる。スタッフの方の受け入れてくれる姿勢に安心できる。
- ・母子ともに精神的にゆっくりできる。自由に遊ばせることができる。スタッフの方々がとてもやさしい。
- ・ボランティアの方が、子どもだけでなく私の話し相手になって相談できたり、アドバイスを頂けること。
- ・いろいろな年齢の子どもがいるがスタッフの方が適切な介入をしてくれる。
- ・ボランティアさんが遊ばせ方などを教えてくれたり見守ったりしてくれる。
- ・沢山のおもちゃで遊べるだけでなく、同学年のおともだちと触れ合えるところ。スタッフの方の相談にのってもらえる事もありがたいです。
- ・アットホームで、子供が好きなおもちゃが借りられるところ。スタッフの方々も話やすく、ちょっとした相談などできて、大人にもいい。



おもちゃ図書館Q&A

Q おもちゃ図書館に望むこと

今回のアンケートでは、おもちゃ図書館の“開館日を増やして欲しい”、“ずっと続けて欲しい”という意見が多く見られ、おもちゃ図書館に遊びに行くことを楽しみにしている親子がたくさんいるのだと感じました。

一方、開館するには人手や場所の確保なども必要となり、なかなか日数を増やすのは難しい、ボランティアが減ってきて今後継続をどうしようかと悩んでいるというお話もききます。みなさんの要望を参考にしてそれぞれのおもちゃ図書館で取り組めることなど検討してみたいはいかがでしょうか。

開館日数や場所について

- ・もっと日数を増やしてくれるとうれしい。
- ・地域子どもや親子が気軽に来られる場所として定着してほしい。
- ・他の曜日も借りられると良い。
- ・入口にもっと目立つ看板があっても良いかも。
- ・もう少し広いお部屋ならさらに嬉しいです。



おもちゃについて

- ・使われていないものは処分してバリエーションを増やしてほしい。
- ・少しずつ変わっているのはうれしい。今後もバリエーションが度々変わっていくと嬉しいです。
- ・たまにおもちゃが少しかわるといいな。
- ・知育のおもちゃもあるので、また借りたい。大きいおもちゃだけでなく、持ち帰りやすい小さいおもちゃがあるとありがたい。赤ちゃん向けも。
- ・満足していますが、電子系もあるといいな。

開館全般について

- ・私たちも含めてなのですが、なるべく部品をなくさず、またこわさず丁寧に遊べると良いなと思いました。
- ・これからも、障がいを持つ子・人とそうでない人をつなぐ場であってほしいと思います。
- ・すてきな場所だと思うのでこれからも続けていって下さい。
- ・いろいろな子が(大きい子) 遊べる場所だといいな~と思う。第1小さい子・第2大きい子みたいに。
- ・リクエストも聞いていただけるので、今後とも長く続けてくださいね。
- ・このままのあたたかい雰囲気続けて行ってほしいです。

相談事業担当者より

今回はみなさんの声を聞いてみて、あっ、そう感じてくれているんだと、嬉しく感じたり、またはこれから改善しなくてはいけない点などがわかり、日頃ぼんやりと活動している私たちに何か「活」を与えてもらった感じがします。動いていかなくては・・・それがこのボランティア「活動」？！

これからも、全国のおもちゃ図書館の皆さんと活き活きと動いていきたいと思っております！ (野口享子)

相談事業担当 (青塚・岸・野口・山本・和賀)